



日本では5百万人を超える患者がいると推定され、毎年約1万6千人前後がこの病気で亡くなっています。しかし、治療を受けているのは20万人前後とされ、適切な治療を受けていない方が多いことが課題です。

COPDは、たばこの煙などの有害物質を習慣的に吸い込むことにより肺に持続的な炎症が生じる病気で、ある日いきなり苦しくなるわけではなく、徐々に呼吸機能を低下させます。そして、なんとなく疲れやすくなる、息が上がりやすくなる、あ

まり外出しなくなるなど日常生活に影響が広がっていきま

す。無意識に活動を制限することで症状を抑えるので、本人も息苦しいといった症状をはっきり自覚しないまま病気が進行していきます。

COPDは早期に発見して治療を行うことで、重症化を予防できます。咳が増えた、息が上がりやすいという自覚症状の他、人間ドックで行われる肺機能検査で早期発見ができます。気道が狭くなっていると肺機能検査の「一秒率」が減少

します。^{※2}「%肺活量が80%未満の場合も何らかの呼吸障害が起きていることが分かります。

日本呼吸器学会では「木洩れ陽2032」と命名し、曇り空の下、木洩れ日の日差しが降り注ぐように気づかぬうちにじわじわ息苦しくなっている方に、きちんと治療がいきわた

り、COPDで亡くなる方が減少するように取り組みを行っています。特に喫煙歴のある方で、疲れやすい、咳込むことが増えたと思ったら、呼吸器内科を受診してみてください。



※1 息を深く吸い込んでから一気に吐き出した空気量のうち、最初の一秒間に吐き出された空気量の割合のこと

※2 年齢や身長、性別から予測される肺活量に対し、測定した肺活量の割合のこと

知ってください COPD（慢性閉塞性肺疾患）

少し歩くだけでも息が苦しくなるCOPD（シーオーピーディー…慢性閉塞性肺疾患）という病気があるのをご存じですか？



静岡県農業団体健康保険組合
保健指導担当課長・保健師
井上 朋子さん



▲卒業制作として花の寄せ植えを学ぶ



▲アグ・カレでブロッコリーの育て方を習得

▼女性部員（中央）に教わりながらキムチ作り



輝く！女性部

J A 女子大学を紹介



▲座談会で女性部員と女子大学受講生が意見交換

部員募集中！



JAふじ伊豆 女性部

部員数

3,674人(令和7年4月30日現在)

主な活動

8地区の各本部で料理教室などの学習教室、各グループ活動、食農教育活動などを実施しています。

お問い合わせ：生活部ふれあい組織課
TEL:055-957-8037

J Aでは、あいら伊豆地区となすん地区で管内在住の女性を対象に、そば打ちやみそ造り体験などJ Aならではのカリキュラムを通して、仲間づくりの場を提供する「女子大学」を行っています。活動を通じてJ Aのファンづくりにつなげ、卒業後は女性部へ加入する方も多く、女性部の活性化に貢献しています。

なんすん地区では、女性部員が講師となつて、おせちやキムチ作りなどを実施。参加者からは「教わる場がなかったので挑戦できてうれしい」と好評です。

評です。また、女性部役員との座談会を開き、女子大学受講生の意見を今後の女性部運営に生かしています。講師を務めた静浦支部の庄司芳子さんは「女性部の魅力を感じてもらい、ぜひ加入してもらえたら」と話しました。

あいら伊豆地区では、女子大学の卒業生で構成される「アグ・カレ」と称した女性部組織があります。「女子大学卒業後も引き続き学びたい」という思いのもとに結成。現在は11人が、農業や手芸などを学び、仲間づくりや食と農を支える活動などに励んでいます。

女性部の活性化へ向けて
女子大学が加入のきっかけに